

# 令和7年度【2025年度】とうきょう すくわくプログラム活動計画書

園名	荒川区立熊野前保育園
----	------------

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な自然の色を探そう！

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
日当たりのよい園庭や広い屋上、園周辺にはたくさんの大きな公園がり、自然に恵まれた環境の中で、植物を使った色水遊びや、どろんこ遊びによる土の色や性質に興味を持ち、自然の中で生まれる「色」を様々な素材や道具を使い子どもたちの興味関心をより深め、発見を楽しめるようにしていく。

## 2. 活動スケジュール

実施計画

対象クラス・対象人数

0歳児～5歳児 全園児103名

活動期間

令和7年5月～令和8年1月

## 3. 活動のために準備する予定の素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・セロファン ・色水遊び ・フィンガーペインティング
- ・プラスチック製試験管、ビーカー ・土粘土 ・スポイト
- ・カラーチャート ・ルーペ ・全園共通購入品 (デジカメ、水中カメラ) 等

## 4. 活動の内容

- ・すくわくPT立ち上げ (第1回6月12日 第2回6月24日 第3回6月25日 第4回7月17日)
- ・事例の提出：9～11月 (0・1・2歳児実施記録) 11～1月 (幼児組実施記録)
- ・1月記録のまとめ2月活動報告書まとめ

# すくわく活動報告書(0歳児いちご組)

日にち: 11/28(金)・12/5(金) 天気 晴れ 活動人数 3名

## 1. 活動のテーマ

葉っぱの色や形を見て興味を持つ

## 2. テーマの設定理由

- ・散歩で拾った落ち葉を「はっぱ」と言って拾ったり、様々な色や形があることに気づきながら集めて遊んでいる。保育室の窓にラミネートした落ち葉を飾ったところ、よく見たり触ったりしている。
- ・5歳児クラスのお店屋さんごっこで紙袋を持って買い物することを楽しみ、クラスに戻ってから紙袋に玩具を入れて歩き、買い物ごっこを楽しんでいる。

## 3. 活動スケジュール

11/28 9:45~10:40 12/5 9:30~10:00

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・紙袋を持って散歩に出かける。
- ・散歩で拾った落ち葉をラミネートし、隙間に葉っぱの形に切ったカラーセロハンを貼る。それを繋げてトンネルを作った。
- ・屋上の三輪車スタンドとフェンスを使ってトンネルを設置した。

## 5. 活動内容

11/28 尾久の原公園に散歩に行き、紙袋に落ち葉を拾って集めて遊ぶ。  
12/5 拾ってきた落ち葉を使って作ったトンネルをくぐって遊び、光に透けた落ち葉の色や形を見る。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

### 11/28 落ち葉拾い

落ち葉がいっぱいの場所に到着すると声をあげながら拾い始める。紙袋を1人ずつ手渡すと落ち葉を入れて、腕に下げて持ち、落ち葉拾いを楽しんだ。「これは赤だね。黄色もあるね。」と保育士が声を掛けながら一緒に拾うと、Uが「これは？」と尋ねるようにまた落ち葉を拾う。「これは茶色だね。大きい葉っぱ見つけたね。」と言うと、満足そうに紙袋に入れていた。

### 12/5 葉っぱのトンネル遊び

屋上にトンネルを設置してあるのを見つけると、SとNは駆け寄っていく。保育士がくぐって見せると真似して上半身をかかめてくぐってみたり、ハイハイでも通ってみる。Nがトンネルを見上げてじっと見つめているので「葉っぱがいっぱいで綺麗だね」と声を掛ける。Nは指さして「はっぱ」と言う。



## 7. 振り返りによって得た先生の気づき

まだ色の発語は無いが、落ち葉を拾いながら色や形の違いに気づき、じっと見つめたり、集めて楽しんでおり、お絵描きなど他の場面でも色を気にして尋ねるようになってきた。また、落ち葉集めの経験から室内に飾った葉っぱも愛着を持って毎日眺めて触り、葉脈をなぞったり、透けた色を見ている。そこからトンネル遊びへと発展したが、窓に貼ったのとは違う空と葉っぱのコントラストを見ながら遊ぶことができ、さらに興味を深めることができた。言葉が出始めたばかりの0歳児でも落ち葉を通した一連の遊びにおける子どもたちが目を輝かせて遊ぶ様子から、さらに葉っぱへの興味を深めることができた実感した。

# すくわく活動報告書(0歳児いちご組)

日にち: 11/28(金)・12/5(金) 天気 晴れ 活動人数 3名

## 1. 活動のテーマ

葉っぱの色や形を見て興味を持つ

## 2. テーマの設定理由

- ・散歩で拾った落ち葉を「はっぱ」と言って拾ったり、様々な色や形があることに気づきながら集めて遊んでいる。保育室の窓にラミネートした落ち葉を飾ったところ、よく見たり触ったりしている。
- ・5歳児クラスのお店屋さんごっこで紙袋を持って買い物することを楽しみ、クラスに戻ってから紙袋に玩具を入れて歩き、買い物ごっこを楽しんでいる。

## 3. 活動スケジュール

11/28 9:45~10:40 12/5 9:30~10:00

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・紙袋を持って散歩に出かける。
- ・散歩で拾った落ち葉をラミネートし、隙間に葉っぱの形に切ったカラーセロハンを貼る。それを繋げてトンネルを作った。
- ・屋上の三輪車スタンドとフェンスを使ってトンネルを設置した。

## 5. 活動内容

11/28 尾久の原公園に散歩に行き、紙袋に落ち葉を拾って集めて遊ぶ。  
12/5 拾ってきた落ち葉を使って作ったトンネルをくぐって遊び、光に透けた落ち葉の色や形を見る。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

### 11/28 落ち葉拾い

落ち葉がいっぱいの場所に到着すると声をあげながら拾い始める。紙袋を1人ずつ手渡すと落ち葉を入れて、腕に下げて持ち、落ち葉拾いを楽しんだ。「これは赤だね。黄色もあるね。」と保育士が声を掛けながら一緒に拾うと、Uが「これは？」と尋ねるようにまた落ち葉を拾う。「これは茶色だね。大きい葉っぱ見つけたね。」と言うと、満足そうに紙袋に入れていた。

### 12/5 葉っぱのトンネル遊び

屋上にトンネルを設置してあるのを見つけると、SとNは駆け寄っていく。保育士がくぐって見せると真似して上半身をかかめてくぐってみたり、ハイハイでも通ってみる。Nがトンネルを見上げてじっと見つめているので「葉っぱがいっぱいで綺麗だね」と声を掛ける。Nは指さして「はっぱ」と言う。



## 7. 振り返りによって得た先生の気づき

まだ色の発語は無いが、落ち葉を拾いながら色や形の違いに気づき、じっと見つめたり、集めて楽しんでおり、お絵描きなど他の場面でも色を気にして尋ねるようになってきた。また、落ち葉集めの経験から室内に飾った葉っぱも愛着を持って毎日眺めて触り、葉脈をなぞったり、透けた色を見ている。そこからトンネル遊びへと発展したが、窓に貼ったのとは違う空と葉っぱのコントラストを見ながら遊ぶことができ、さらに興味を深めることができた。言葉が出始めたばかりの0歳児でも落ち葉を通した一連の遊びにおける子どもたちが目を輝かせて遊ぶ様子から、さらに葉っぱへの興味を深めることができた実感した。

# すくわく活動報告書(1歳児みかん組)

日にち: 11月19日(水) 天気 晴れ 活動人数 19 名

## 1. 活動のテーマ

光の中で身近な色を見つけてみよう

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など

・窓側より舎人ライナーや戸外を見る環境にある1歳児クラス。時間の経過により日差しや影が変わっていく様子を感じるようになった事、その時期に簡単な色にも興味を持ち始めた為この遊びを考えた。

## 3. 活動スケジュール

1. 窓に星、ハート、三角、丸、虹のカラーセロファンを貼ったりぶら下げて床に移る色や形を楽しむ。
2. 段ボールをドーナツ形にくり抜き真ん中にカラーセロファンを貼り屋上でそれをもって色探した。

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

・カラーセロファン・段ボール紙

## 5. 活動内容

- ・9月5日、形をくり抜いた段ボールにカラーセロファンを貼り、窓側につるした。
- ・10月3日、カラーセロファンで虹を作り窓の下側に貼り付けた。
- ・11月19日、ドーナツ型の段ボールにセロファンを貼った玩具持って屋上で色遊びした。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

太陽の光にあたって光るカラーセロファンのハートや星、虹などの形を見つけ近くに集まってきた。そのあと、床にも形ができていることに気が付いた。手で取ろうとしたり、お皿を置いてのせたりする姿が見られた。窓に貼り付けた虹から外をみると「おそとがみどり！」と言っていた。屋上での色遊びでは、地面や壁に映った色に触ろうとすると、逃げてしまい追いかけてこになったり、自分の陰で色が消えてしまいくる回りなくなった色を探す可愛らしい姿が見られた。カラーセロファンの中から空を見上げ「おそらがあかいろ」「きいろだ～」と大興奮したり友達同士交換し色々な色を楽しんでいた。



## 7.振り返りによって得た先生の気づき

・子ども達からの発信を待とうとクラス職員で共有し進めた。最初は少しずつほふく室に飾り、光がうまく入る場所を探しながら飾る場所を日によって変えながら進めた。季節が変わると光の入り方も変わること気づいた。しばらくの間ほふく室に飾ることで子ども達の様々な反応を見ることができ良かった。屋上では色の発見から追いかけてこのようになり丸の形に注目し、乗用玩具のハンドルやタイヤと合わせる子もいてこちらの予定していた遊び以上に遊びが広がった。子ども達の発想に驚くこととなる。

# すくわく活動報告書 2歳児ばなな組

日にち: 10/16(木) 天気 くもり 活動人数 17 名

## 1. 活動のテーマ

様々な光の中で色を探してみよう

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など  
戸外遊びの時に自然の光に照らされた色を発見し、「〇色だね」「こっちは〇色！」など、色の発見を楽しむ姿が出てきた。具体的な色の名称も認識出来るようになってきて、より色に対して興味が出てきていた為、色と光を使った遊びを考えた。

## 3. 活動スケジュール

1. 室内で光にあてて色を探したり、色の変化を楽しむ
2. 次回11月頃、戸外の自然の中でいろいろな色の変化や見え方の不思議さを楽しむ

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・トレース台 ・カラーセロハンの眼鏡
- ・投光機

## 5. 活動内容

色や光に興味が出てきた子どもたちに対し、段ボールで手作りのプラネタリウムを複数人の子どもたちと一緒に作ってみることから始めた。光を当ててみて「プラネタリウムをやってみよう」と子ども達に投げかけ、部屋を暗くして、光に当てた色や形を探す。  
トレース台に様々なものをおいて、色の反射を楽しむ。  
トレース台だけでなく、自然の光はどこだろうと投げかけ、窓からの光に当てて色の変化を楽しむ。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

部屋が暗くなるとわくわくした様子の子も達。初めは保育者が用意したカラーセロハンの眼鏡に光をあてて「あかだー！」等と天井に色がつくことを楽しんでいた。色を探している中で、A児が天井の影を見て「おばけがいるよ！！」と話すと、一斉におばけ探しが始まる。急遽おばけの型を保育者が用意して光に当てると「おばけだー！！」と楽しむ姿があった。しばらくしてB児が「これはどう？」とままごとのペットボトルのジュースを持ち出す。光に当てると綺麗に光り輝き、子ども同士で頭を寄せ合い見惚れていた。そこから他の子たちもブロックやままごとの食べ物など、好きなものを照らして楽しむ姿があった。保育者が「他にも光がないかな？」と声を掛けると窓際に行き、外の光に色を照らして「(色が)見えたね！」と友達同士で話す姿もあった。



## 7.振り返りによって得た先生の気づき

色や自然の中の光に興味を持ちだしていたので、色や光を使った遊びの活動を考えた。暗くなるだけで「わあ～！！」とわくわくしている様子がとても伝わってきて微笑ましかった。おばけブームであったこともあり、色探しからおばけ探しと変わっていった為、急遽おばけの型を用意して対応した。子ども達が楽しそうにおばけや、好きなものを持ち出し、自由に光にあてて、色や影の不思議さに気づき楽しむ姿が見られたのは良かった。

次回は、今回使ったセロハンの眼鏡を「トンボの眼鏡」として応用し、戸外で色探しをしたいと思う。今回は暗い室内での色の見え方を楽しんだので、次回は明るい戸外で草花を眼鏡で覗いてみたり、太陽の光に当てて見たりと、また違った見え方や色の変化を楽しめたらよいと思う。

# すくわく活動報告書 2歳児ばなな組

日にち: 11/19(水) 天気 晴れ・くもり 活動人数 14 名

## 1. 活動のテーマ

様々な光の中で色を探してみよう

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など  
戸外遊びの時に自然の光に照らされた色を発見し、「〇色だね」「こっちは〇色！」など、色の発見を楽しむ姿が出てきた。具体的な色の名称も認識出来るようになってきて、より色に対して興味が出てきていた為、色と光を使った遊びを考えた。

## 3. 活動スケジュール

1. 室内で光にあてて色を探したり、色の変化を楽しむ(前回実施)
2. 戸外の自然の中でいろいろな色の変化や見え方の不思議さを楽しむ

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・カラーセロハンの眼鏡 ・落ち葉
- ・絵の具 ・指絵の具

## 5. 活動内容

前回製作したカラーセロハンの眼鏡を「とんぼの眼鏡」として羽や持ち手を付けてアレンジすると、窓辺に眼鏡を当て、日差しの中で色が変化する様子を楽しんでいる姿が見られた。晴れた日に戸外で同様の眼鏡を使って遊ぶことで、光の当たり方を楽しんだり、セロハンを通して自然物を見る面白さに気づけるよう活動を行った。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

戸外で「とんぼの眼鏡」を出すと、まずは自分の目に当てて周りの景色の色が変わるのを楽しんで遊んでいた子どもたち。A 児と保育士が眼鏡をとんぼに見立てて掲げてあそんでいたところ、地面に色付きの影が出来たのに気づいた B 児が「あおいとんぼがいるよ！」と笑顔を見せる。その後は地面に向けてセロハンをかざし、いろいろな色が見えるのをそれぞれ思い思いに楽しんでいた。

園庭に落ちていた柿の葉を見つけた C 児が、赤いセロハンと見比べ「いっしょねー」と色が同じことに気づく。隣で緑色のセロハンを持っていた D 児は、花壇の緑の葉に眼鏡をかざしながら「これは？」と嬉しそうな顔を見せていた。葉の色が違うことに気づいた子どもたちは、ままごと用の皿を持ってくると「こっちはみどり」「これはあか」と葉っぱを集めて色の違いを楽しんで遊ぶ様子が見られた。

綺麗な葉っぱはそのままクラスに持ち帰り、クラスで葉っぱと同じ色の絵の具を探してスタンプ遊びを行う。模造紙いっぱい紅葉色になったのを見て「かき(の木)といっしょだねえ」と園庭での色探しを思い出して話す姿が見られた。



## 7.振り返りによって得た先生の気づき

前回作ったカラーセロハンの眼鏡をととてもよく気に入っていたので、とんぼの眼鏡に見立てて遊びを展開できるようにした。前回遊んだことで光へのかざし方が分かっている子は、太陽光と影の様子を見ながら精いっぱい手を伸ばして自分のイメージする方向に動かそうとしていて、保育士がやり方を伝えなくても遊びの中で試行錯誤しているのだなと感じた。

また、ちょうど秋口で紅葉や落葉が多く、活動の中で自然と落ち葉遊びが始まったのが面白かった。子どもの何気ない発言から、「次は〇〇をしてみよう」という声掛けをせずとも落ち葉集めや絵の具遊びへと活動が展開していく様子が興味深かった。今後も子どもたちの興味に合わせて活動を楽しめるようにしていきたい。

# すくわく活動報告書

# 3歳児さくらんぼ組

日にち: 12/11(木) 天気 晴れ・曇り 活動人数 17 名

## 1. 活動のテーマ

自然の中で生まれる「色」を探してみよう

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など  
様々な色の葉が落ちることに興味をもち、風が吹くと落ちると分かり、風にも興味をもち始めたため。

## 3. 活動スケジュール

1. 風車に興味を持ってみる。
2. 風車が回るとどうなるか見てみる。

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・スクータースタンド
- ・風車 ・スズランテープ ・養生テープ

## 5. 活動内容

水や光が反射することで、虹ができることに興味を持っていた。また、落ち葉が風によって落ちる姿を見て、風にも興味を持ち始めたため、オーロラ紙の風車を保育に取り入れて光や風、色に興味を持てるような活動を行った。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

スクータースタンドにオーロラ紙の風車を設置するが回らない。スズランテープを下げて風の吹く方向を調べてみると、「こっちに動いている」と風の吹く方向が分かった。風車をその方向に向けると、「回った」「動いた」と喜ぶが、「こっちは動いていない」と風車によって回る、回らないがあることに気が付き、息を吹きかける子もいた。どうしたらいいか悩むと「色々な方向に向けたらいいんじゃない」という声が上がった。様々な方向に変えてみると、「回った」「いいんじゃない」と回る、回らないに一喜一憂しながら、風車を楽しんだ。

日が差すと、風車に光が反射をして「みて、きれい」「キラキラしている」「さっきと変わった」と光の有無の違いに気付いた。また、地面を見て虹ができないか探す姿もあった。風車を地面に近づけてみると、「光った」「虹があった」と喜んでいた。



## 7.振り返りによって得た先生の気づき

光や風など自然に興味を持つ子どもが多く、子どもと色々試しながら発見できるようにした。風車の方向や息を吹くなどどうしたら回るのか、子どももよく考えていることを知り、全て試してみようと思った。風車が回らない、日差しがないなど想定外のこともあったが、子どもたちの提案を実践して遊んでいるうちに日が差して反射する姿を見せることが出来たので良かった。風車が太陽光で反射することで輝き、子どもたちの喜びや興味が増して、光探しや色探しをする姿も可愛かった。今後も、子どもたちの興味に合わせて活動を楽しみ、展開していきたい。

# すくわく活動報告書

# 3歳児さくらんぼ組

日にち: 11/11(火) 天気 晴れ 活動人数 19 名

## 1. 活動のテーマ

自然の中で生まれる「色」を探してみよう

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など  
園庭や散歩先の木の葉に手を伸ばし、興味を持つ様子があった。落ち葉を拾い持ち帰るようになって、さらに興味が増している様子があったため。

## 3. 活動スケジュール

1. 落ち葉を持ち帰り、何色があるか探してみる
2. 見つけた色に似た絵の具で製作を楽しむ

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・落ち葉
- ・水を入れたジップロック ・絵の具

## 5. 活動内容

散歩に行き、落ち葉に興味を持ち、落ち葉には何色があるか見たり探したりするため拾って持ち帰った。制作が好きで意欲的に行う子どもが多いため、保育室で持ち帰った落ち葉を見ながら、水を入れたジップロックと絵の具を使って紅葉の色を表現する活動を行った。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

散歩先で紅葉している木を見て「こっちは黄色」「こっちはオレンジ色もあるよ」と木によって葉の色が違うことに気付いた。広場に到着すると「葉っぱがいっぱいある！」と嬉しそうに落ち葉に触っていた。「ここの葉っぱは黄色が多いね。」「こっちにオレンジもあったよ。」「赤があんまりないね…」と子どもたちで広場の様々な場所の落ち葉を見つけて、色について会話をしながら好きな色の落ち葉を拾って集めることを楽しんでいた。

落ち葉を集めて“焼き芋ごっこ”や“キャンプごっこ”をする中で、A 児が「この葉っぱハートの形してる！」「これは恐竜の手みたい！」と葉の形の違いに気が付いた。すると B 児が「恐竜の手みたいなの、大きいね。これは小さいよ。」と葉の大きさの違いにも気が付いた。その会話を聞いていた子どもたちが「その大きい、私も欲しい。」「ぼくも。」と欲しかったので、大きな葉が落ちている広場に移動した。葉を拾い、お面や羽にして楽しむ姿が見られた。その中で C 児が「この葉は黄色でもオレンジでも赤でもないよ？」と不思議そうに保育者に伝えた。「本当だね、落ち葉にもいろいろな色があるのかもしれないね。」と伝えると「へー、これは茶色だよ、でもちょっと緑色のところもあるよ。」と1枚の葉でも1色ではなく何色か入っていることを発見して楽しんでいた。

子どもたちが持って帰りたいとのことであったため、一人ひとり好きな色や形、大きさの落ち葉を保育園に持って帰ってきた。製作遊びが好きな子どもたちなので持って帰ってきた落ち葉を見ながら、水の入ったジップロックと絵具を用意し、紅葉の色を表現した。茶色の葉を持っている子もいたが、子どもたちの中での“紅葉”のイメージもあるようで実際に拾ってきた葉の色が茶色であっても赤や黄色、オレンジを選ぶ子がほとんどであった。ジップロックに絵具をつけてスタンプしていき、色が混ざると「違う色になったよ。」と楽しむ姿が見られた。



## 7.振り返りによって得た先生の気づき

保育者が紅葉や落ち葉についての声掛けをしなくとも子どもたちが葉に色が付いていることや前回に散歩に来た時とは葉の色が変わっていることに気付いていたことに驚くとともに、日常的に自然を感じながら遊んでいることが分かった。製作で色が混ざるのを楽しむ姿もあり、夏に色水遊びをした時のことを思い出している様子も見られ、季節の活動が季節を超えて子どもたちの体験や経験として身につけていたことをうれしく思った。また、見たままを表現することも大切であるが、子どもたちのイメージや想像するものを表現することも子どもたちにとって大切であると感じた。今後も子どもたちの興味や関心に合わせて活動を楽しめるようにし、その先に新たな発見をして子どもたち自身が遊びを発展させられるような環境を整えていきたい。

# すくわく活動報告書(4歳児めろん組)

日にち: 11月13日 天気 くもり 活動人数 15名

## 1. 活動のテーマ

自然の中の様々な色を探してみよう

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など

散歩先での落ち葉を見て、「このはっぱのいろ、とちゅうでかわってておもしろい」「おなじかたちのはっぱなのに、いろがちがう」などと色の違いや変化に興味を持ち始め、園庭の花や葉っぱの色もよく見る姿が見られる。

## 3. 活動スケジュール

1. 芋掘りをし、掘った芋を見比べ、形や大きさ、色の違いに気付く。
2. 同じ紫色でも、様々な紫色があることに気付く。

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

- ・カラーチャート ・白い紙
- ・クレヨン、マーカー、絵の具などの様々な色が出るもの

## 5. 活動内容

芋を子どもたちが掘ってみて、色や大きさなど違いをよく見る。それぞれ芋によって違いがあることに気付き、保育室内にあるペンなどの色と見比べる。カラーチャートを出して芋に当て、どの色が近いか探す。芋だけでなく、蔓や葉の色もカラーチャートから探す。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

友だちと協力して蔓を引っ張り、芋を掘ることが出来るととても喜んでいました。芋の色は紫という考えから、保育室内にあるペンの紫を白い紙に書き、芋の色と見比べた。すると色が似ていないことに気が付き、「ぜんぜん、いろがちがう」「むらさきじゃなかった」と驚く姿があった。カラーチャートを1枚ずつよく見て「これならにてるね」「こっちもにてる」と色を探す姿が見られました。そこから、芋だけでなく、葉っぱや蔓の色もカラーチャートから探す。葉っぱは、同じ葉からいろんな色があることに気が付き、色ごとにカラーチャートのどの色が近いのか、合わせて探していた。



## 7. 振り返りによって得た先生の気づき

散歩先で落ち葉の色に興味を示す姿が見られ、園庭でも葉っぱを見つけて形や色を見比べて楽しんでいたので今回の活動を考えた。芋は紫色という話から、見比べられるように白い紙にペンの色を出して準備した。すぐに全然違ふと気づき、カラーチャートの中から色を探していた。カラーチャートは1つしかないのも同じような色を探す場合、順番に使わなくてはならなかった。カラーコピーをして複数人で探すことが出来るようにしてもよかったと感じた。今後も散歩先にカラーチャートを持っていくなど、色探しをしていきたい。また、同じ色を自分たちで作ることもやっていきたい。

# すくわく活動報告書(5歳児ぶどう組)

日にち: 12/3 天気 曇り 活動人数 21 名

## 1. 活動のテーマ

サツマイモの葉と茎の色水

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など

冬に植えたチューリップが咲き、色水や染物で遊んでいた。パンジーなど様々な花を集めて楽しんでいた姿があったため、継続して植物や野菜での色の面白さを楽しめるのではないかと、春から、さつまいもの収穫に向けて、水やりの世話をしたり、観察画を定期的に行い、変化を見てきた。サツマイモの収穫の時期になり、サツマイモの葉や蔓を題材に色の発見を楽しめるように環境を準備した。

## 3. 活動スケジュール

サツマイモの収穫前に、蔓を引き抜き、リース作りをする。その中で葉を集めて、叩き染めをした。叩き染めや、リース作りで残った葉や蔓で、煮汁を作り、色水の変化を楽しむ。

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

・葉と蔓の煮汁 ・試験管 ・試験管立て ・スポイト ・計量カップ ・透明カップ ・スプーン  
・白い粉(塩、砂糖、重曹、クエン酸)と蒟蒻水

## 5. 活動内容

葉と蔓の煮汁がどんな色になるのか?身近な白い粉を加えると、どんな変化をするのか、予測しながら試していけるように設定する。煮汁では、色の予測を楽しみ、実際に色はどんな変化をするのか、少量ずつ粉を加えて発見を楽しむ。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

数日前に、白い粉の名前は伏せて準備する。白い粉をみんなで見てみる。「しろいけどこれだけちょっとちがう」「さらさらしてない」「ふわふわしてる」「いっぱいつぶしてあるみたい」と白い粉の匂いや違いを感じている。1つだけ粉を入れると、どんな変化が起きるか問いかけると、「みどりになる」「かわらない」と予測が挙がる。一つ入れて混ぜてみて、色やにおいの変化を見てみる。「お茶みたいな匂いになった」「なにもかわらないね」「うえだけしろいのでてるよ」とそれぞれの発見があった。午後に「どうなった?」と見た子は白さが消えた様子に気づき、「じかんたったからじゃない?」と話す。

当日、道具を準備していると、「じっけんするの?」「これなに?」「やりたい」と数名集まってくる。粉どうしを瓶の中で混ぜないこと、使った道具は洗うことだけ伝えて、子どもたちに委ねてみる。白い粉選びにじっくり考える子、友だちがやってみる様子をじっと見る子、粉をどんどん追加していく子と、それぞれの取り組みの様子があった。粉を入れる子は、「なにもない」「こぼれちゃう」と話すので、「ゆっくり混ぜて待ってみるとどうなるかな?」と言葉を添えた。「何か変わった?」と聞くと、「ばなのいろ」「こうちゃみたいなにおいになった」「みるくていーみたい」「こっちはもっとちゃいろい」と変化に気づき始める。粉を何種類も入れていくと、泡が出始め「ばくはつした!」と面白がる子がいる。すると、数種類入れる子が続き、「ちゃいろがこくなった」「びーるみたいにばくはつした」と面白がり、「どうやってあわになるの?」「これとこれかな?」「どれいれたの?」とやり取りが増えていった。



たくさん色が出来上がると、並べて楽しんで眺めていた。翌日になると、色がより濃淡がはっきり変化した。3台棚から降ろし担任が見比べていると、「こっこのほうがこい」と比べる様子が見られたので、順番を並べ替える様子を見せると、「やりたい」と友だちと順番を入れ替えていた。「ぼくのどれ?」と自分が作った色水の変化を楽しみにしており、「はちみついれたみたい」「おちゃのいろが、ちゃいろになった」「くまのちゃろになった」「くろくなった」と新たな発見をしていた。



## 7.振り返りによって得た先生の気づき

どんどん混ぜてみる子もいれば、「どうやるの?」「どうなるの?」とやり方や、答えを気にする子もいた。一つ一つの変化への反応、煮汁の注ぎ方、粉や水のたらし方や加え方、どの姿を取っても、じっくり取り組んでおり、やっている最中は真剣で、言葉数は少ないが、変化を楽しみにする姿勢やワクワクしている表情がにじみ出ていた。次第に友だちのやり方や変化に関心が向き、聞きながら真似てみたり、違うものを選んでみたり、と考えて取り組んでいた。こんな色になったという感想をたくさんの言葉で表現している様子が印象的だった。どうしてその色になったのかまで、気付きを引き出していきたい。実験器具や名前を伏せた“白い粉”の道具たちに興味を持ち、やってみたいという気持ちを掻き立てられたのではないと思う。染物までいくことができなかったため、配分での反省がある。

次回は、乾燥した蔓で染液を作り、色水の実験や、布を染めた色の変化を楽しみ、新たな子どもたちの気づきを捉えていきたい。

# すくわく活動報告書(5歳児ぶどう組)

日にち: 12/15 天気 晴れ 活動人数 21 名

## 1. 活動のテーマ

サツマイモの蔓の色水

## 2. テーマの設定理由

テーマに関する子どもたちの興味関心など

冬に植えたチューリップが咲き、色水や染物で遊んでいた。パンジーなど様々な花を集めて楽しんでいた姿があったため、継続して植物や野菜での色の面白さを楽しめるのではないかと、春から、さつまいもの収穫に向けて、水やりの世話をしたり、観察画を定期的に行い変化を見てきた。サツマイモの収穫の時期になり、サツマイモの葉や蔓を題材に色の発見を楽しめるように環境を準備した。

## 3. 活動スケジュール

サツマイモの収穫前に、蔓を引き抜き、リース作りをする。その中で葉を集めて、叩き染めをした。叩き染めや、リース作りで残った葉や蔓で、煮汁を作り、色水の変化を楽しんだ。乾燥した蔓の煮汁はどんな色になるのか、布はどんな色に染まるのかを試してみる。

## 4. 活動のために用意した素材や道具、環境の設定

・乾燥した蔓の煮汁(染液) ・試験管 ・試験管立て ・スポイト ・計量カップ ・透明カップ ・スプーン  
・白い粉(塩、砂糖、重曹、クエン酸)と蒟蒻水 ・付箋  
・綿の生地 ・ビー玉 ・輪ゴム ・ボール

## 5. 活動内容

煮汁がどんな色になるのか、採ってすぐの蔓と、乾燥した蔓では色が変わるのか?身近な白い粉を加えると、どんな変化をするのか、予測しながら試していけるように設定する。煮汁では、色の予測を楽しみ、実際に色はどんな変化をするのか、少量ずつ粉を加えて楽しむ。また、素材の変化で色は変わるのか、染めると布がどんな色になるのか予測をし発見を楽しんでいく。

今回は、前回の反省を踏まえて、使う煮汁の量の目安を伝えた。また、取り組んでいく中で、粉を全部混ぜて行くことで変化が早く、得られる気づきが同じ様子になりがちだったので、2回目に取り組む子には、あえて入れる粉を2種類まで、と限定してみた。

## 6. 活動中の子どもたちの姿、声、子ども同士や保育者とのかかわり

砂場で雨水を一生懸命集めている子がおり、「いろみずのじっけんにつかいたい！」という声が上がったので、やってみることにした。砂の混ざった水と、乾燥した蔓を煮だした汁で実験してみた。

粉をたくさん混ぜた子たちは、反応が早く、「もういろかわっちゃった」「1をいれたらこぼれた！」(泡がたくさん出た)と気づく。「においはどう？」と尋ねると、「においしない」「くさい」「こなみたいなにおいする」と話した。泡だった子は、試験官に移した後にじっくりと見ており、「あわなくなったら、はんぶんになった」と量の変化にも気が付いていた。

もっとやりたいという子には、使う粉を2種類に限定するよう伝えてみた。すると、色が変わる様子などをじっくり見るようになった。そこから、「さくらんぼみたいないろになった」「いちごっぽいいろつくりたい」と、どの粉を入れたのか、よく見合いながら取り組むようになった。



実験の日の午後、皆とどんな色になったかを確認する。「仲間で並べるとどうなる？」と尋ねると、「これとこれこうかんして」などの声上がり、同じような色が集まる。「サーモンピンク」「きみどりっぽい」「まえばくろになったよね」「ちょっとこげたはっぱのいろ」と声が聞こえた。観察を続ける子の様子を見ると、「おれのみせたげる」「4と2でピンクだ」「2と1と、4と3でちがうのに、おなじいろだよ？」「1と3でおなじなのに、なんでおいろちがうんだろう？」「入れる順番が違うんじゃない？」と続々気づきが上がる。「なにかから入れたの？」とそれぞれに確認すると、「うーん、3からだった」「1をたくさん入れたよ」と別々の答えが返ってきて、「やっぱりじゅんぱんがちがうんだ！」と喜んでいて。

## 7. 振り返りによって得た先生の気づき

2度目ということもあり、どんどん取り組む姿がありつつ、使い方がわからずにいる子も見られた。ゆっくり使い方を伝え、変化を楽しめるように見守っていった。その中では、とにかく混ぜることを楽しむ姿が多く、色の変化などに気付けるような声が届かないこともあったので、粉を限定し、1つで色は変わるかな？匂いは出るのか？どの組み合わせだと泡が出るのか、などに気づけるようにした。そのことで、付箋に書いた数字と色を見て、同じことに気付いていく様子、友だちと一緒に喜んだり、見せあう姿が見られたので、種類を減らすことも、環境を用意する中では必要な段階なのだと感じた。子どもたちからは、「粉の答えはまだ教えないで」との声が多かったので、また別の機会に取り組めたらと思う。

次回、染め物をするときに、入れる粉を考えられるようにつなげていきたい。

# とうきょう すくわくプログラム



なんで? どうして?



子どもの「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援し、探究活動を通じて子どもたちの豊かな心の成長をサポートする東京都が推進する「とうきょう すくわくプログラム」を、今年度から取り入れています。

熊野前保育園の今年度のテーマは「身近な自然の色を探そう」です。年間を通して様々な取り組みをして子ども達と楽しんできたので、各クラスの活動を1部紹介いたします。

できるかな? こうしてみよう!



## いちご組 『はっぱのトンネル』

散歩で落ち葉を見つけるたびに「ぱっぱ!」と指さし、葉っぱにとっても興味がある子ども達。そこで、園庭で拾った葉っぱをラミネートして窓に貼ってみました。すぐに見つけて、指さしながらじーっと観察。日光に透ける葉っぱの色や葉脈を指でなぞったりしていました。持ち帰ってきた葉っぱを使ってトンネルを作りました。屋上に設置したトンネルを見つけると目を輝かせていた子どもたち。保育士に誘われて中に入り見上げると葉っぱと青空とのコントラストがとても綺麗でした。何度も出たり入ったりして遊びました。



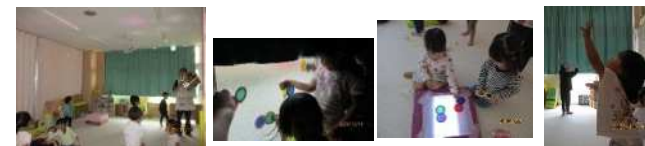
## みかん組 『なにいろが見える?』

カラーセロファンで作った玩具に太陽の光を通し、色あそびをしました。地面や壁に映った色に触ろうとすると、逃げてしまい追いかけてこのようになったり、自分の影で消えてしまうと、くるくる回って無くなった色を探したりしていて可愛かったです。カラーセロファンの中から空を見上げ「おそらがあかいよ!」「きいろだ〜」と大興奮の子どもたち。友だちが持っているものと交換して色々な色を楽しんでいました。丸の形に注目し、乗用玩具のハンドルやタイヤと合わせている姿もあり、子どもたちの発想に驚く毎日です。



## ばなな組 『プラネタリウム』

部屋に偶然差し込んだ虹色の光を発見すると「にじだ!」と大喜びの子ども達。自然の中の色や光を使った遊びはなんだろう…と考え、手作りの「プラネタリウム」を楽しみました。部屋が暗くなるだけで「わあ〜!!」とわくわくしている様子がとても伝わってきて微笑ましかったです。おぼけブームだったこともあり、色探しからおぼけ探しと変わっていき「あおのおぼけ!」など子ども達が楽しそうに色やおぼけを探して楽しんでいました。



## さくらんぼ組 『どんないろ?』

散歩先で紅葉している木を見て「こっちは黄色」「こっちはオレンジ色もあるよ」と木によって葉の色が違うことに気付いた子どもたち。広場に到着すると「この葉っぱは黄色が多いね。」「こっちにオレンジもあったよ。」「赤があんまりないね…」と子どもたちで広場の様々な場所の落ち葉を見つけて、色について会話をしながら好きな色の落ち葉拾いを楽しんでいました。大きな葉を拾うと「この葉は黄色でもオレンジでも赤でもないよ?」「これは茶色だよね、でもちょっと緑色のところもあるよ。」と1枚の葉でも1色ではなく何色か入っていることを発見していました。一人ひとり好きな色や形、大きさの落ち葉を保育園に持って帰り落ち葉を見ながら、水の入ったジップロックと絵具で紅葉の色を表現し楽しんでいました。



## めろん組 『色探し!』

毎日水やりをして育てたサツマイモを友だちと協力して掘りました。掘った芋は、まず大きさや色を見比べました。大きいサイズの芋が掘れると「わー!すごい、おおい!」と大喜びの子どもたち。その後、白い紙に保育室内にあるペンで色を描き、芋の色と見比べたり、カラーチャートを1枚ずつ芋に当ててどの色が芋に近い色探しをしました。近い色を見つると「これにってるね」「これもおなじかんじ」とたくさん発見していました。その後、葉っぱや蔓の色探しの始め、「こことこのいろがちがう」と同じ葉っぱの中でも色の違いを発見していました。



## ぶどう組 『さつまいもで遊ぼう』

さつまいもの葉でたたき染め、つるでクリスマスリースづくりをしました。さつまいもの葉やつるを「よいしょよいしょ」と引っ張り、つるから葉をきれいに取りました。葉の匂いを嗅ぐと「う〜ん」「やさいのにおい?」となんともない表情の子どもたちでした。葉のたたき染めは障子紙に葉を並べて木づちでたたきます。葉の模様がつく「わあ〜」と驚いていました。つるはバケツに巻きつけてリースを作りました。つるが滑ったり、バケツが動いたりして、巻きつけるのが難しい様子もありましたが膝でバケツを抑えたり、バケツに座って巻きつけたり、試しながら自分でやりきる姿が見られました。

